

2017年3月期 第3四半期電話会議における質疑応答の概要

〔2017年2月7日（火）、東京〕

【グループ全体】

Q. 今後、中期経営計画の修正があると考えていいのか？現行の中計だと来期は減益となりそうだが。設備投資においても、計画と比べて進捗が遅れているように見える。解説をお願いしたい。

A. 来期の業績については、今年5月の決算発表の時点で数値の見直しを行うことになるだろう。一方、中計3年目の最終年度の数値を見直すか否かについては、仮定の話になるので現時点で申し上げる状況にはない。設備投資については、3Q累計で前期比31億円の減少となっている。但し、基本的な考え方としては、実施時期が後ズレしているということである。従って、中計3か年の中では計画通り実施する予定である。

【加工食品】

Q. 家庭用調理品の売上高増加率がマーケットを上回っている理由を教えてください。

A. 3Qで米飯類などのテレビCMを流したことで、当社へのブランド認知度が高まり、他の商品への波及効果も一定程度あったと考えている。

Q. 3Q単独の増益12億円の主な増減要因について教えてください。

A. 1Qと3Qでは営業利益の増減要因の分析を精緻に行っているわけではないので、具体的な金額についてはご容赦願いたい。当社としては、増益要因、減益要因の各々の項目に関して、2Qの決算発表時点の想定より営業利益に少しずつプラス影響が出ていると捉えている。

Q. 3Qまで業績が好調に推移するなか、4Qに業績が鈍化する要因について教えてください。

A. 4Qでモメンタムが鈍化する要因は主に3点。

1点目は元々、他の四半期と比べて売上の絶対額が小さいということ。

2点目は3Qも広告宣伝費を積極的に支出したが、4Qも商品のCMや企業CMなどを予定し、支出額が膨らむこと。

3点目は3Qに比べ、原材料・仕入コストの低減効果が小さくなると見ていること。具体的には、米国でトランプ大統領が勝利して以降、円安が急速に進んだことで、スポットで調達する輸入品の仕入・原材料コストが一定程度増加すると見ている。

以上

※当文書は電話会議当日の質疑応答内容をすべて記録したものではなく、株式会社ニチレイが編集を加えております。